

「東金市総合交通計画」（平成24年度－平成26年度）の計画期間満了に伴うまとめについて

地域公共交通の改善・整備の施策について（新たな公共交通システムとしてのデマンド型乗合タクシーの導入について）

■ 改善・整備目標

人・地域の暮らしを支え、便利で利用しやすい持続可能な公共交通ネットワークを構築する。

■ 数値目標

| 基本方針 | 項目 | 策定時の現状値等 | 目標値（平成26年度末） | 平成26年度末の現状値等 |
|------------------------------|--------------------------------|---|--|--|
| 今より便利に | 公共交通の満足度 | 第15回市民アンケート （平成23年8月） 満足 61.36%・不満 35.37% | 市民アンケート調査による交通施策に対する満足度を70%以上にする。 | 第18回市民アンケート （平成26年8月） 満足 33.61%・不満 55.07% |
| | 市全体の新たな公共交通システム利用者数 | なし | 利用者を200人/日以上確保する。 | 平成26年度（244日） 利用者 37.89人/日 |
| 今より効率的に | 行政負担 | 循環バス利用者1人当たり 行政負担約560円 | 市内全域での新たな交通手段の利用者1人当たりの行政負担を現行循環バスでの負担程度に維持又は下げる。 | 平成26年度 デマンド型乗合タクシー 利用者1人当たり行政負担約1,618円 収入 9,618,700円 支出 24,573,184円 利用者 9,245人 |
| 民間交通事業者を基本に、行政はそれらでできないことの補完 | 民間路線バスの新增設を基本とし、行政によるデマンド交通で補完 | 現在アクセスはなく市民の期待は大きい。 | 東千葉ティカルセンターと東金駅とのアクセス、他の路線バスの延長や他の路線バス等との結節を、民間バス事業者による運行で平成26年度から確保する。また、当該センターを新たな交通手段（デマンド型乗合タクシー）の行き先の一つとする。 | 民間バス事業者3事業者による路線バス・高速バスの新增設による運行確保 デマンド型乗合タクシーによる運行確保 |